

# 1. グランドデザイン策定の背景

大田区は、昭和22年、大森区と蒲田区が合併して誕生しました。以来、多摩川大橋、蒲田陸橋や蒲田駅、大森駅の駅ビルの完成、大田区体育館、大田スタジアム、アプリコの開設など着実な発展を遂げてきました。

蒲田駅周辺地区は、世界の最先端技術を有するものづくりのまちO T Aの商業・業務の中心的役割を担っています。まちは、戦災復興の土地区画整理事業による都市基盤の整備とともに、建物の建設が進みましたが、事業完了から約40年経過し、建物等の更新時期を迎えています。



菖蒲橋付近から見た蒲田駅方面  
昭和27年

ー伸びゆく大田ー

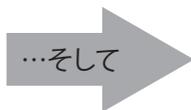
- 1947(S.22) ■大森区と蒲田区が合併して「大田区」が誕生
- 1949(S.24) ■多摩川大橋開通
- 1952(S.27) ■羽田空港が米軍から返還され「東京国際空港」に
- 1962(S.37) ■環状8号線蒲田陸橋開通
- 蒲田駅東口駅ビル完成
- 1964(S.39) ■東京モノレール開通
- 1965(S.40) ■大田区体育館開館
- 1970(S.45) ■蒲田駅西口駅ビル完成
- 1978(S.53) ■新東京国際空港開港、羽田空港から国際線を移転
- 1984(S.59) ■新六郷橋開通
- 大森駅ビル完成
- 1989(H.元) ■東京都中央卸売市場「大田市場」完成
- 1993(H.5) ■京浜急行空港線「羽田駅」開業
- 羽田空港新旅客ターミナル・東京モノレール「羽田駅」「羽田空港駅」開業
- 1995(H.7) ■大田スタジアム開設
- 1996(H.8) ■産業プラザ(PiO)開館
- 1998(H.10) ■区役所本庁舎蒲田へ移転
- 京浜急行「羽田空港駅」開業
- 区民ホール「アプリコ」開館
- 2001(H.13) ■大田文化の森開館
- 2004(H.16) ■羽田空港第2ターミナルビル開設
- 2007(H.19) ■大森ふるさとの浜辺公園開園



蒲田西口商店街 昭和31年  
区画整理される前の商店街



蒲田駅東口前の広場 昭和35年  
バラックの駅舎に広場は未舗装です。  
東口駅ビル開業は昭和37年



京急連続立体交差事業  
第一京浜・環状8号線立体交差事業  
羽田空港再拡張・国際化



蒲田駅西口前 昭和36年

京急蒲田駅周辺では、京急連続立体交差事業が進められ、事業に伴う市街地再開発や関連街路整備により、まちの活性化が期待されています。

品川、大井町、川崎など隣接する地域では、まちの再構築・活性化が進み、都市間競争も激化しています。

また、羽田空港の再拡張・国際化(2010年)に伴い、空港アクセス拠点である蒲田駅は、空港と都市間を結ぶ交通結節機能を有する重要な核として、その役割は今まで以上に大きなものになっています。

こうした周辺状況の変化を踏まえ、蒲田駅周辺地区においては、都市基盤の再整備や観光の視点を取り入れた商業・業務等の活性化が期待され、大田区の中心拠点として、まちの機能を向上していくことが強く求められています。また、少子高齢社会の進行による人口構成の変化や地球温暖化に対応した都市環境にも配慮しながら、将来につなげていくまちづくりを進めていくことが必要です。



羽田空港



羽田空港と近接する京急蒲田駅周辺地区



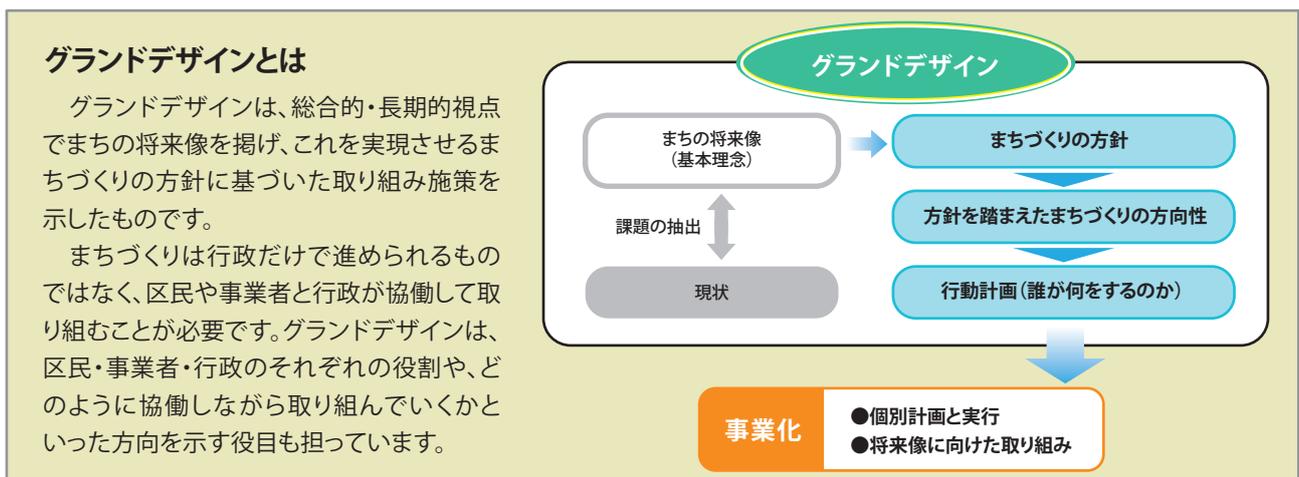
蒲田駅東口から見た蒲田駅東西駅ビル

## 2. グランドデザイン策定の目的

このような背景のもと、蒲田駅周辺地区は、内包する課題や周辺状況の変化に対応しながら、将来像を掲げ、実現に向けた取り組みを進めていくことが必要となっています。このため、地域住民・事業者・行政が一体となってまちづくりを進めていくための将来像、基本的な方針・目標、実現に向けた方策を示す、グランドデザインを策定する運びとなりました。

まちづくりは、都市計画や産業、観光、地域福祉、環境保全、文化など幅広い分野にわたります。グランドデザインでは、こうした分野での蒲田駅周辺地区の特徴を捉え、課題を整理した上で、そこからイメージされるまちの将来像を描きます。この将来像に向けて基本方針と目標を定め、具体的な行動計画とそれに取り組むための仕組みや手順も明示していきます。

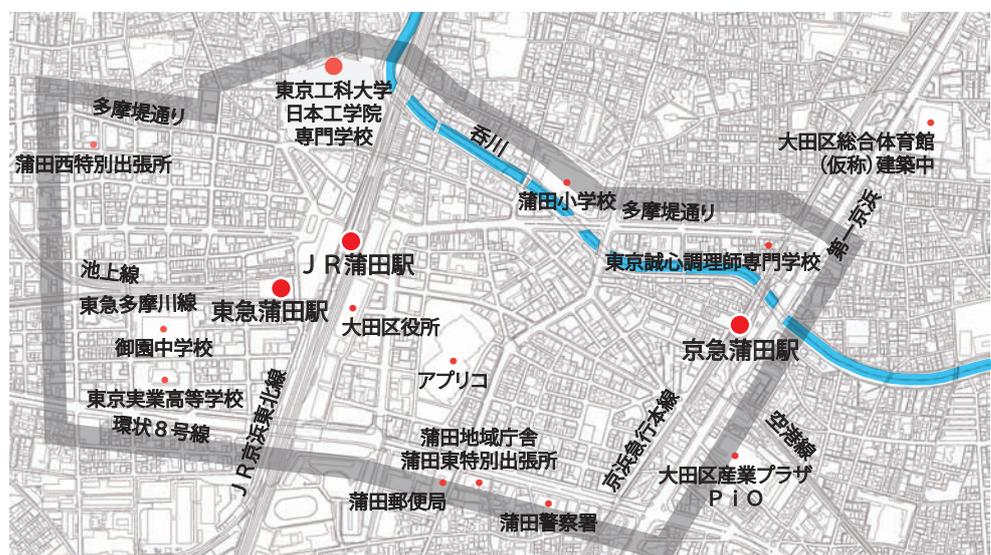
この取り組みによって、蒲田駅周辺地区が将来にわたって持続可能な発展を目指していくことが、グランドデザインの策定目的になっています。



## 3. グランドデザイン策定のエリア

グランドデザインの対象範囲は、J R・東急蒲田駅を中心とした約80haとします。

具体的には、東は第一京浜の沿道、西は蓮沼駅手前付近、南は環状8号線の沿道、北は呑川及び多摩堤通り沿道を対象範囲としますが、対象範囲外の周辺の大規模な施設を考慮します。



## 4. グランドデザインの位置付け

区内全体の都市計画分野の基本計画である「大田区都市計画マスタープラン」は、蒲田駅周辺を大田区を中心拠点としています。グランドデザインは、このマスタープランの地域別整備構想である「蒲田駅周辺地区のまちづくり方針」の一部として位置付けます。

また、20年後の区の目指すべき将来像を提示する「大田区基本構想」を平成20年10月に策定しました。この基本構想を実現するための具体的な施策を体系的にまとめた大田区10か年基本計画「おおた未来プラン10年」においても、蒲田駅周辺は、大森駅周辺及び羽田空港跡地・周辺部とともに、大田区の3つの中心拠点の一つに位置付けています。蒲田駅周辺地区グランドデザインは、この基本計画の中で策定が求められている「蒲田駅周辺のまちづくり」の将来構想となります。

